

区議会レポート

98号

2023年10月13日発行



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

本号の内容

表面：第3回定例会報告など
裏面：決算審査特別委員会報告など

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

令和5年葛飾区議会第3回定例会閉会

令和5年度第3次補正予算案 76億7,793万円

◆9月25日の中間本会議において、第三次一般会計補正予算76億7,793万円が議決されました。以下補正予算の概要の一部です。◆区役所内の対話型生成AIの環境構築のための対話型生成AI導入経費。◆柴又文化的景観を活用し、山本亭や帝釈天でライトアップや若者やインバウンド誘客のためのイベントの実施に向けた葛飾柴又文化的景観誘客イベント経費。◆令和8年に開催を目指す、全国規模の緑化イベントへの調査・検討のための(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか基本計画策定

経費。◆学童保育クラブ待機児童対策として施設整備をするための私立学童保育クラブ整備費用など。

■立石駅南口西地区、都市計画決定 ◆都市計画審議会において立石駅南口西地区第一種市街地再開発事業が議決され、7月12日に都市計画決定されました。

■葛飾中川かわまちづくり計画登録

◆現在、東京都の事業として中川七曲がりの耐震化工事に合わせ、護岸テラスの整備が進んでいますが、高砂橋から上流部は国の管轄になり、親水性を持った整備がされていませんでした。

◆今回、国土交通省のかわまちづくり支援制度に申請し、8月10日に国内12カ所の一つとして「葛飾中川かわまちづくり」計画が登録されました。◆今後、親水性を持った歩道などのハード整備とともに、河川空間でのイベントやオープンカフェなどの賑わい創出などのソフト部分についての検討が始まります。

■立石地域の歴史記録化へ

◆立石駅北口再開発事業が進み、8月末に権利者から再開発組合への明渡しが完了し、9月4日から仮囲い工事が始まりました。その直前に、再開発組合の協力で、立石の歴史を残す会のメンバーと大学の研究室が一部の物件に立ち入りし、内部の調査を実施しました。合わせて一部記録化のための保管などに取組みました。



立石再開発地区調査物件にて



建設環境委員長報告に登壇

区議会任期折り返しへ・かわごえ誠一危機管理特別委員会副委員長に選任

◆この11月で前回の区議会議員選挙から2年が経過し、区議会の4年の任期の半分、折り返しを迎えます。◆葛飾区議会では2年毎に、議会での所属の変更などが行われており、去る10月12日の第三回定例会の最終日に正副議長の選挙、各委員会の所属変更が行われました。◆議長選挙の結果、議長に自民党の伊藤よしのり議員、副議長に公明党の下山しんいち議員が選出されま

した。◆かわごえ誠一は危機管理対策特別委員会副委員長に選任されました。◆危機管理対策特別委員会は主に災害対策や感染症対策など、危機への対応を所管します。◆また、常任委員会は保健福祉委員会の所属となりました。◆保健福祉委員会は子育て支援や高齢・障害などの福祉関係、公衆衛生などを所管します。◆今後ともより良い葛飾を目指し尽力してまいります。

◎かつしか区民連合に所属していた夏目佳代子議員が立憲民主党を離党し、それに先立ち8月30日付けでかつしか区民連合を離脱し、無所属となりました。今後、かつしか区民連合は6名のメンバーで活動してまいります。かつしか区民連合の活動に改めてのご声援よろしくお願いたします。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住34年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTAなどの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会議員：危機管理対策特別委員会副委員長・保健福祉委員会・議会運営委員会など

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動はFacebook かわごえ誠一をご覧ください。



一般質問報告



一般質問に登壇

◆9月13日に開かれた本会議においてかわごえ誠一が一般質問に登壇しました。その一部を掲載します。

1：文化基本方針の策定について

答弁◆本年度文化芸術基本方針のたたき台を作成し、次年度以降に基本方針の素案策定を進め、中期実施計画に反映させる。

2：新たな危機へのリスクマネジメントについて

答弁◆災害時相互応援協定を結ぶ各自治体と、実効性のある連携体制を構築する。◆線状降水帯については区全域で内水氾濫の発生が危惧されるため、具体的な対応を検討する。

3：子どもの権利と子ども基本構想について

答弁◆子どもの権利を守るために区と支援団体との協力体制が重要であり、条例制定後も会議体の設置に向け取組みを進める。
◆地域のヤングケアラー支援団体との連携強化に務める。

4：学童保育クラブの待機児童対策について

答弁◆緊急性の高い小3までの待機児童解消に務める。◆夏季休業中など学校施設を活用し継続性のある待機児童対策を進める。

5：総合教育センターの体制について

答弁◆多様化・複雑化する課題は総合教育センターだけで解決が困難になっている。業務量の増加について専門性が必要な業務と事務的な業務を整理し、総合教育センターの持続可能な体制について検討を進める。

【区議会ホームページ一般質問アーカイブは右QRコードから】→



区議会令和4年度決算審査特別委員会報告

◆第三回定例会では令和4年度決算案が上程されました。決算審査特別委員会が設置され、四つの分科会に分かれ審査されました。かわごえ誠一は環境費・都市整備費を審査する第三分科会（10月3日開催）と、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会（10月4日開催）に所属しました。以下、分科会でのかわごえの発言の要旨を報告します。

◆第三分科会（環境費・都市整備費）

■ 環境費 ■

● 環境推進費

◆緑と花のまちづくり事業は（仮称）全国みどりと花のフェアかつしかの計画策定においては、園芸種のみでなく、緑の回廊の整備など、生物多様性の視点を盛り込んだ緑化の推進を求める。

◆生物多様性保全推進は生物多様性戦略実行計画を区民との協働で策定したことを評価し、今後検討が始まる中川かわまちづくりへ生物多様性の考えを組み込み調査を進めることを求める。また、ネイチャーポジティブの考えを明確にし、ビオトープなど環境再生には自然環境レポーターの活用など人材育成を検討すること。

◆地球温暖化対策では清和小学校で行われた学校施設の断熱化実証を評価し拡充を求める。雨水利用については、今後地球温暖化が進む中で懸念される洪水・渇水双方の対策を検討すること。

● 清掃費

◆ごみ収集作業経費においては全プラリサイクルの推進を求める。また、酷暑が進む中、清掃作業員への熱中症対策を進めること。

■ 都市整備費 ■

● 都市整備管理費

◆空家等対策経費は先進自治体の事例を参考にし、ホームページでのマッチング情報掲載や空家アドバイザー導入を進めること。

◆区民との協働の街づくりでのアドバイザー派遣が執行率がゼロになっていることは「街づくり推進条例」での要件が使いづらいためであり、今後再開発によるハード面での整備から次の段階に移る立石のまちづくりなどでも使いやすいような検討を求める。

● 街づくり費

◆立石駅周辺地区市街地再開発事業の賑わい創出検討業務委託では、北口再開発が進む中、周辺地域も含めたまちづくりが急がれる。賑わい創出は区民が納得できる委託の検証を求めると共に、商業以外の様々な課題、自治町会や教育、子育て、歴史・文化の継承なども含めた広範な街づくりについて、話合いの場がづくり求められる。早急に街づくり協議会などをつくることを求める。

● 道路橋料費

◆公衆便所維持管理経費は立石再開発による地区センターの移転などでバリアフリートイレの空白地帯が生じるため、合理的配慮の観点から施設再編に合わせ面的な公衆便所の整備の検討を求める。

◆第四分科会（教育費・特別会計他）

■ 教育費 ■

● 教育総務費

◆教育振興基本計画推進経費では、策定中の次期教育振興基本計画について、学校教育の比重が重くなり、生涯学習の視点が弱く感じる。生涯学習の課題を明確にした振興計画の検討を求める。

◆教育情報化推進経費は学校内の共用パソコンが不足し、講師や学校司書が使用できず、授業に支障が生じている。共用パソコンが不足のないように配置をすることを求める。

◆学習センター・学校図書館は学校司書のこれまでの時間増と今年度の夏休みの時間増を評価し、専門性の更なる向上を求める。又、自学自習はその力をつけるための指導が必要であり、教員による学校図書館を使った自学自習の力をつけるための授業を求める。

◆特別支援教育推進の連合行事・連合運動会などは一人一人の特性に応じ、インクルーシブ教育の考えを元にした検討を求める。

◆総合教育センターは不登校支援の拡充には、センターの体制整備が必要だ。持続可能な総合教育センターの体制整備を求める。

◆小中合築において、よつぎ小・四ツ木中の合築では周辺の公園利用団体の活動状況を調査し、改築の予定を丁寧に説明すること。

● 小学校費・中学校費

◆学校運営事業経費のスクールサポートスタッフは拡充を求める。

● 社会教育費

◆放課後支援事業・わくわくチャレンジ広場では、実施日数や対象学年など学校ごとの開催状況に差が生じている。地域の力が弱くなり、継続ができない学校も生じる可能性がある。全校での実施を継続するため、委託なども含めた緊急的な支援を求める。

◆放課後支援事業・学童保育クラブは待機児童が継続して生じている地域があり、公立・私立の枠を越えて早急な対策を求める。待機児童対策としての学校施設の活用については学校の懸念を払拭し、実施できる地域から早急に対策を進めること。

◆図書館管理運営経費は子ども読書推進計画の策定を求めるとともに、今後の施設の改修においては、区民ニーズやICT技術導入など時代の最先端技術を捉え、計画的な整備を求める。

◆郷土と天文の博物館は文化財行政など専門性と、博物館運営などの業務を整理した体制整備を求める。施設の老朽化や、学芸員などの専門性の継続など、博物館全体の整備の方向性を示すこと。